

JGAP と ASIAGAP の同時認証について

JGAP2022 の発行に伴い、日本 GAP 協会が別の認証プログラムとして運営する ASIAGAP と同時認証が可能な JGAP についてお知らせします。

記

1. ASIAGAP と同時認証が可能な JGAP

現在、認証が付与されている以下の ASIAGAP と同時認証が可能な JGAP は、JGAP2016 となります。

(認証が付与されている ASIAGAP)

- ・ ASIAGAP Ver.2.1
- ・ ASIAGAP Ver.2.2
- ・ ASIAGAP Ver.2.3
- ・ ASIAGAP Ver.2.3 改定第 1 版

2. ASIAGAP と JGAP の適用範囲(品目およびセクター)が同じ場合

JGAP 2016 の審査を実施することなく申請による事務手続きで JGAP2016 の認証を取得することが可能である。

3. ASIAGAP と JGAP の適用範囲(品目およびセクター)が異なる場合

ASIAGAP の適用範囲(品目およびセクター)と同じ範囲については、JGAP2016 の審査の必要はない。ただし、ASIAGAP には認証の対象となる範囲に精米工程と仕上茶工程が存在しないため、精米または仕上茶の JGAP 認証が必要な農場・団体は、ASIAGAP の審査に追加して JGAP 2016 の精米専用項目または仕上茶専用項目の審査を受けることで、JGAP2016 の精米または仕上茶までの認証を取得することが可能である。

4. 同時認証の有効期限

ASIAGAP 認証の有効期限が、JGAP の認証有効期限となる。

以上